

本校で取得できる専門学科の資格



◆本校は農業科・工業科・商業科が連携し、学科が協働し、あなたの進路実現を強力に支援する【総合技術高校】です。

◆学校の見学について◆

今年度の公開授業は以下のとおりです。創成フェア以外は中学の先生を通じて申し込みをしてください。

- 授業公開 5月18日(土) 11月16日(土)
- 創成フェア 10月26日(土)・27日(日)
- 課題研究発表会 1月31日(金)

◆農業科の資格取得について

日本農業技術検定 (農業科)

農業の知識や技術を評価して認定する試験です。学校で学んだ農業に関する知識・技術がどの程度身についているかを証明します。農業や食品関係の学校を受験する際や、農業法人、JA、自治体、食品関連企業などへの就職活動にあたって強みになります。(R4/3級・50名)
(R5/3級・76名)



危険物取扱者試験 (全学科)

危険物の取り扱いなどに必要な資格で、取り扱える危険物の種類及び権限の違いで3種類に分類されます。危険物とは、ガソリンなどの可燃性の高い物品のことで、資格を取得すれば危険物を扱う工場やガソリンスタンドなどで働く際、必要とされます。(R5/農3名)
(R4/農7・工3・計10名)



毒物劇物取扱責任者試験 (全学科)

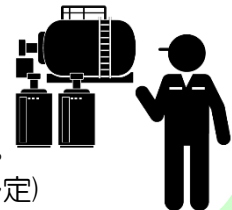
毒物や劇物を取り扱う施設や企業で、対象の物質を適切に管理し、取り扱うための知識や技術を持つ責任者を認定するための国家試験です。毒物や劇物に分類される薬品や農薬を取り扱う施設では責任者が必要になり、その責任者になることができます。



普通第一種圧力容器取扱作業主任者技能講習

(全学科)

圧力容器とは内部や外部からの圧力に耐えられるように設計された密封容器のことです。一定以上の容量をもつ圧力容器(大型ボイラーなど)を取り扱う際に必要となる資格です。施設の暖房や給食施設で使用する調理用ボイラーなどを扱うことができます。(令和5年度より受験予定)



ガス溶接技能講習・アーク溶接特別教育 (全学科)

ガス溶接にはガスを使用し、アーク溶接には電気を使用します。ガス溶接は燃焼ガスを使い、高温の炎で材料を溶かして接合する溶接方法です。アーク溶接は溶接棒と母材の間に発生させた高温のアーク熱で、母材と溶加材を溶融させ接合する溶接方法です。溶接は金属を繋げる技術として良く知られていますが、金属製造業だけでなく板金・塗装業、自動車・機械修理業、建設・土木業、管工事業や解体工事業など、幅広い分野で必要とされている技術です。(R4/ガス溶接 農1・工23 :計24名/アーク溶接 工19名)



小型移動式クレーン運転技能講習

(全学科)

積載型トラッククレーンなどで、つり上げ荷重が 5 t 未満のクレーンを操作することが出来る資格です。この資格は重量物の運送・土木業・建設業・造園業や電気通信業等、多くの職種で必要です。



(R4/農 1・工 7・計 8名)

玉掛け技能講習 (全学科)

クレーンで荷物を移動する際に、重さを計算してワイヤーロープを荷物に掛け、安全に移動させる作業を行うときに必要な資格です。クレーンとセットで資格取得すると便利です。建設業、製造業、運送業や鉄工業など、多くの職種で必要とされます。



(R4/農 4・工 1 計 5名)

小型車両系建設機械運転特別教育

(全学科)

整地、運搬、積込み、掘削などの工事現場で活躍する建設機械のうち、機体重量 3 トン未満の小型車両系建設機械を操作するために必要な資格です。



(R4/農 13 工 4 計 17名)

(R5/農 6 商 1 計 7名)

フォークリフト運転技能講習

(全学科)

フォークリフトは大量の荷物の運搬が必要な物流業界、建築・土木現場、また産業廃棄物処理、空港、港湾ターミナルなどでも、荷物を迅速に運搬できる役割として活躍しています。このフォークリフトを取り扱うための資格です。



(R4/農 16 工 17 計 33名)

(R5/農 13 工 1 商 2 計 16名)

刈払機取扱作業安全衛生教育

(全学科)

刈払機は、取り付けた刃を高速回転させて雑草や山林の下草を刈り取る機械のことで、刈払機の安全な使用について学びます。この資格は農業や林業だけでなく、造園業、建設業など、幅広い分野で必要です。



(R4/農 11 工 2 計 13名)

高所作業車運転技能講習 (全学科)

高所での電気工事や、橋梁・トンネル等の点検・補修工事などに使用される機械です。作業床や昇降装置などから構成され作業床の高さが 10m 以上の高所作業車の運転には、資格が必要です。建設業、電気通信業、板金業、塗装業などに必要です。



(R4/農 22 工 1 計 23名)

(R5/農 22名)

3級造園技能検定 (環境造園科)

造園の基礎的な知識・技術を身に付ける資格です。造園業に携わる上で必須ではありませんが、造園技能検定を取得すると、造園に関する一定の知識や技術を持っていることを公的に証明でき、就職への強みになります。

(R4/農 14名)

(R5/農 13名)



2級造園施工管理技士検定 (環境造園科)

本資格は、第一次試験の学科試験と、第二次試験の実地試験からなる資格です。高校では学科試験のみ受験可能です。造園の仕事における、現場の責任者になることのできる資格です。この資格を持っていなくても、造園の仕事で働くことはできますが、仕事の幅が広がるので、持っている会社で大変優遇されます。



初級バイオ技術者認定試験 (食品科学科)

バイオテクノロジーは、生物のもっている様々な機能を合理的に利用する技術です。身近な物は発酵食品やお酒などがあげられます。そのような目には見えない生物を利用するにあたり、知識や技術が身に付きます。

(R4/農 9名)

(R5/農 14名)



FFJ 検定 (農業科)

1年生で初級検定、2年生で中級検定と希望者が上級検定を受験します。日頃の授業の内容の確認や2年生の授業内で取り組む研究が自分に定着しているかを確認でき、毎日の努力の積み重ねで科学性・社会性・指導性を身につけられているかを客観的に評価する検定です。

(R4/上級 67名)

(R5/上級 54名)



◆工業科【創造工学科】の資格取得について

計算技術検定

複雑な数値計算を正確にかつ短時間に行うことは、ものづくりにとって極めて大切なことです。関数電卓の正しい使い方や計算の手順を理解する中で、これから学んでいく機械分野の計算に生きていきます。



(R4/33名 R5/35名)

※主催：全国工業高校校長会

情報技術検定

工業技術者として必要な基礎的情報技術に関する知識と技能を習得します。

2進数の計算やプログラム言語(C言語)、プログラミング、システムツニア、プログラマ、ITツニアの進路につながります。

(R4/3級 11名)

(R5/2級 2名・3級 21名)

※主催：全国工業高校校長会



基礎製図検定

ものづくりにとって製図や図面を読む力は必要です。ものづくりを行う上で大切な資格です。

(R4/17名 R5/16名)

※主催：全国工業高校校長会



機械製図検定

基礎製図検定の上級資格となり、ものづくりは図面を見ながらの作業になるのでとても大切な資格です。

進学や就職に有利です。

(R4/24名)

(R5/17名)

※主催：全国工業高校校長会

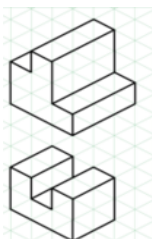


技能検定（機械検査作業）

機械検査作業は、ノギスやマイクロメータなどの測定機器などを用いて機械部品等が指定どおりの寸法で正しく加工されているのか検査する作業です。筆記試験、実技試験があります。将来、品質管理や加工系の就職、進学を目指すときに生かれます。

(R4/3名 R5/5名)

※主催：厚生労働省



技能検定（普通旋盤作業）

旋盤とは、主に円筒形の鉄などを削って部品をつくる工作機械です。この資格は、旋盤工のスペシャリストであると証明できる国家資格です。筆記試験、実技試験があります。

将来、機械加工系の就職、進学を目指すときに生かれます。

(R4/11名)

(R5/ 3名)

※主催：厚生労働省



◆商業科の資格取得について

全商ビジネス計算実務検定試験

そろばん・電卓のいずれかの計算用具を用いて、普通計算とビジネス計算の2つの部門により計算実務の能力を問う検定試験です。そろばん・電卓を使用することで数字に親しみ、計算技術の向上は企業でも重要視されています。

(1級 R4・17名 R5・10名)



全商簿記実務検定試験

簿記は、企業で経理事務を担当する人にとって、必要不可欠な資格といえます。1級取得を推薦入試の推薦基準としている大学・短大も多く、大学進学之道が大きく開かれます。さらに、上級の試験を目指し、税理士や公認会計士への道も拓けます。

(1級 R4・47名 R5・41名)



全商ビジネス文書実務検定試験

ビジネス活動では、情報を文書によって伝達します。情報を速く正確に伝えるために、ビジネス文書に関する基本的な知識と入力技能を兼ね備えている必要があります。より高度な知識と技能を身につけ、社会に出て即戦力になります。

(R4 1級 3名 2級 36名)

(R5 1級 8名 2級 18名)



全商英語検定試験

職業人として自立するとき、使用頻度の高い言語である英語を身に付けていることは、あらゆる場面で役に立ちます。国際化社会で生きる英語を目指します。英語力は就職に有利ですが、大学進学で国際関連学科などの推薦入試に有利になります。

(R4/1級 3名 R5/1級 1名)



全商情報処理検定試験

アプリケーションソフトの操作、Webページ等の制作、プログラミングの学習、情報通信ネットワークなど、実際の企業活動を想定し、これからの高度情報社会をリードできる人を育みます。進路実現に必須の資格になります。(R4/1級 5名)

(R5/1級 5名)



全商商業経済検定試験

企業が行う経済活動を見据え、ビジネスが実際にどのように行われているかを理解し「お客様が満足する商品やサービス」を提供するための企業活動等について学びます。経済の仕組み、企業経営やわが国の法体系の基礎も学び、社会人としての心構えを育みます。(R4・5ともに1級 6名)



全商ビジネスコミュニケーション検定試験

職業人として求められる倫理や経済社会の一員として望ましい心構え、ビジネスの諸活動に適切に対応できる能力と態度について学びます。社会人として必要なマナーやコミュニケーションに関する基礎的な知識・技能を身につけ、進路実現の面接に役立ちます。



財務諸表分析検定試験・財務会計検定試験

管理会計検定試験

金融化された現代社会に生きる会計的センスや企業経営にとって重要な資質であるビジネス・マネジメント能力を育みます。会計書類(数字やデータ)から企業を分析する力を身につけ、進学・就職(特に事務職)に有利になります。

(R5/財務諸表分析 7名)

